

広報ふたば



【表紙写真】威風堂々の出陣（相馬野馬追）



集まれ!

ふたばっ子

2016

久々の再会

7月16日、17日いわき市スバリゾートハワイアンズにおいて、将来の双葉町を担う子どもたちが、様々なふれあい活動を通して心の交流を図り、双葉町の子どもとしての意識や自覚を持たせ、絆の維持に努めることを目的として「集まれ!ふたばっ子2016」が開催されました。避難先から小学生45人、中学生15人、高校生5人、保護者合わせて約120人、その他、町立学校の教職員、福島大学の学生などが参加しました。参加した皆さんは、1年ぶりの再会を喜び、受付で顔を合わせるとたちまち笑顔になり「久しぶりだね」と声をかけ合う姿がたくさん見られました。

また、異動により双葉町の小・中学校を離れた先生方も参加し、子どもたちの成長に目をほころばせていました。

開会式

開会式では、主催者を代表して半谷淳教育長があいさつし、来賓として金田勇副町長が「久しぶりに会った友だちとふれあって良い思い出を作り、さらに絆が深まることを願っています」と祝辞を述べました。次に、佐々木清一双葉町議会議長がお祝いの言葉を述べられました。

続いて、小学生代表の野村花音さん、坂本諒介くん、中学生代表の大高滉士くん、高校生代表の松本佳弥さんがこれまでの思いやこれから頑張りたいこと、将来の夢などを一人ずつ発表しました。

ミニコンサート

中国地方在住の「マイトリ」という2人組音楽ユニットによる「マイトリ」という言葉にはサンスクリット語で「思いやり」「友情」という意味があるそうです。

優しい歌声とメロディがとても心地良く響き、中にはギターを弾く真似をしながら聞いている子もいるなど、とても楽しい時間となりました。



壁塗り甚句鑑賞・体験

双葉町民謡同好会の皆さんによる「壁塗り甚句」の発表を鑑賞しました。左官の仕事を再現した愉快な踊りや生の歌と三味線の演奏に、子どもたちや保護者の皆さんは手拍子をしながらかしこに鑑賞しました。

また、体験も実施され、子どもたちは恥ずかしがりながらも、真似て演じたり、太鼓を叩いたりして会場は笑い声に包まれ、盛り上がりしました。

最後には会長の伊藤美枝子さんが「双葉町の伝統芸能を絶やさないために、皆さんに興味を持ってもらい、後継者となっていただきたい」と呼びかけました。



世代別グループ協議

小学生・中学生・高校生・保護者がそれぞれの小グループに分かれ、先生方や福島大の学生、ふたさぼのメンバーがコーディネーターとなつて、自己紹介や今頑張っていること、今後の双葉町についての考え、子どもたちに望むことなどを話し合いました。初めて顔を合わせる子どもたちもおり、緊張がみで始まった協議でしたが、徐々に和らぎ生き生きと自分の意見を述べる姿がありました。

最後に、代表グループによる発表があり、子どもたちからの「今は目標に向かって勉強を頑張っている」、「双葉はぼくのふるさとだから戻りたい」などの意見や保護者の方からの「自分のふるさとに残したい」などの意見の他に、自分が子どもの頃の双葉町の話題で盛り上ったという発表もありました。



映画上映・プール活動

2日目は、双葉町に関する映画の上映とプール活動の2つに分かれて行われました。

映画の上映では、双葉町の懐かしい映像が流れ、参加した皆さんは食い入るように映像を見つめていました。

プール活動では、この活動を一番楽しみにしていたという子どもたちが多く、早々と水着に着替えウォータerparkへ向かう姿が見られました。お揃いの緑色の水泳キャップをかぶり、大プールや流れるプール、ウォータースライダーで、友達や保護者の方と生き生きと楽しそうに活動していました。



閉会式

閉会式では、代表者3人から2日間の楽しかった思い出の発表がありました。

「プール活動が楽しかった」、「友達と一緒に部屋で過ごせたことが良かった」、「顔見知りの友達と会えて良かった」。また来年も参加したい」という言葉が聞かれました。

閉会式後も友達同士で話し込んだり、写真撮影をしたりして最後まで交流を深めており、思い出に残る2日間となった様子でした。



絆が深まった
2日間!



集まれ！ふたばっ子2016

児童・生徒作文発表

代表者がそれぞれの
想いを発表しました

私の頑張り

小学生代表

(双葉町立双葉北小学校)

2年 野村 花音さん
のむら かおん



私が今頑張っていることは、自分の力で宿題をやることです。

2年生になってから、宿題の中身が難しくなってきたので、嫌になってやりたくなくなってしまうことがあるからです。

だから、今、私がやっていることは、必ずお母さんに見直しをしてもらって間違えてないかチェックしてもらうことです。そうすると「良かった」と嬉しくなります。ちゃんと間違いを減らせば、気持ちが良いので、正しく覚えることが嬉しくなります。

では、これから頑張りたいことを皆さんの前で発表します。それは、字をきれいに書くことと、素直に聞くこと、そして、恥ずかしがらずに人の前で発表することです。

私は、気を付けると丁寧な字が書けます。これを自信にして毎日続けたいです。そして、家族の話をきちんと聞いて、気を付けるところは直したいです。

最後に、今皆さんの前で話しているの、これからはどこで話しても平気です。
私の頑張りを見ていてください。



今のぼくとこれからのぼく

小学生代表

(郡山市立安積第二小学校)

5年 坂本 諒介くん
さかもと りょうすけ



ぼくは、ふたば幼稚園の年中組の時に震災にあいました。震災後は、家族とあちこちに移動して新しい幼稚園に入りました。卒園後は、引っ越しをして郡山市の小学校に入学しました。2年生になるとき、また引っ越しをして転校しました。せっかく友達ができなのに、また離れることになってしまい、とても悲しかったです。今、5年生になり、新しい友達もたくさんできて、毎日がとても楽しいです。

学校の授業では算数が好きで、高学年になってだんだんと難しくなってきたけれど、小数のわり算などが早く解けるととても嬉しいです。



友達とは、ゲームの話をすることが多いです。ぼくは、将来ゲームを作りたいと思っています。両親から、ゲームが好きだけではゲームを作る人にはなれないと言われました。ぼくは、将来の夢のために、いろいろなことにチャレンジすることを決めました。学校では、豊田太鼓のクラブ活動に参加し、10月の発表会に向けて練習を頑張っています。また、習字を習い始め、きれいに書くように努力しています。

小学校生活も来年で最後になります。友達を大事にして、たくさんのお思い出を作りたいです。

双葉中学校での生活

中学生代表

(双葉町立双葉中学校)

1年 大高 湊士くん
おおたか あきひと



皆さんこんにちは。ぼくは、双葉中学校の1年生です。毎日一人で授業を受けています。なぜなら、双葉中学校の1年生はぼくだけだからです。ぼくの学校生活はなかなか大変です。クラスの仕事は一人で全部やらなければならからです。毎日、日直です。掃除も一人だけです。教室は小さめなのですぐ終わりますが、授業は先生とマンツーマンです。全ての質問にぼくが答えます。手を挙げずとも必ず指されます。少しも気を抜けません。その代わり、ぼくも気軽に質問できますし、わかるまで教えてもらえるという良い点があります。



そんな学校生活を送っているのですが、今頑張っていることは部活動です。ぼくはバトミントン部に入っています。部活動を始めるまで、ぼくはあまり運動をしていませんでした。なので、ぼくの体力はゼロに等しく、まずは体力づくりを頑張っています。1学期は毎日が筋肉痛でした。6月には初めての中体連にも出場し、自分の実力がまだまだだと思い知らされました。しかし、その大会で自分の目標をしっかりと持つことができた。3年生の最後の中体連では県大会に出場することを目標に、これからの練習を頑張りたいと思います。また、今日は普段なかなか会えない同世代の人がたくさんいるので、とても楽しみにしてきました。2日間よろしく願います。

将来に向けた私の思い

高校生代表

(福島県立ふたば未来学園)

1年 松本 佳弥さん
まつもと かや



2011年3月11日の震災から早いもので5年4カ月が経ち、現在私は広野町に昨年開校された、ふたば未来学園高等学校に第2期生として入学しました。避難先が郡山市ということで、親元から離れ、寮生活を送っています。始めは寂しさと不安で、家へ戻りたいと思う日々が続いていましたが、今では新しい友達もでき、学校での授業も進学に向けて積極的な姿勢で取り組めるようになりました。そんな私の将来の夢は、グラウンドスタッフになることです。皆さんは耳にしたことがありませんか？空港でパスポートの受付や座席の指定、空港内の案内等をする

仕事です。どうしてこの仕事に興味を持ったかというと、震災当時、私は、何も悪くないのに避難所での不自由な生活を強いられ、自分はとてもかわいそうな人間だと、自己擁護ばかりしていました。ですがある日、テレビでたまたま海外青年協力隊の方々がアフリカのスーダンという国の子どもたちの現状を取り上げた番組を見て、とても衝撃を受けました。病気になっても医者にかかれず、エイズなどの感染症が蔓延しているという内容でした。今世界では1分間に17人の人々が餓死で亡くなっています。この現状を知り、日本と海外を結びつける仕事に就きたいと思うようになりました。今、私は将来の夢に向け海外研修へ積極的に参加し、他国の文化や歴史を学び、人との交流を大切にしたいと思っています。そして、震災時、多くの支援をしてくださった方々に対し、感謝の気持ちを忘れず、一日一日を大切に歩んでいきたいと思っています。



町民の皆さまへ

猛暑が続いた夏も終わりに近づき、涼しい風が通りぬけるようになりました。

8月3日に安倍内閣の改造が行われ、双葉町の復興に関係の深い復興大臣、環境大臣、経済産業大臣の3大臣が入れ替わりました。8日には山本公一環境大臣がいわき事務所を訪問され、9日には、今村雅弘復興大臣、世耕弘成経済産業大臣が双葉町内を視察されました。各大臣には要望書を手渡すとともに「双葉町の状況をよく理解して、被災者の声にしっかりと耳を傾け、復興の加速化に全力を注いでほしい」と強くお願いいたしました。

また、9日には双葉町海岸災害復旧工事の着工式が中浜地区で行われ、工事の安全を祈願して鍬入れを行いました。東日本大震災の大津波により20人の尊い命が奪われ、白砂青松の美しかった双葉町の海岸線は壊滅的な被害を受けました。震災から5年が過ぎてようやく海岸堤防の復旧工事が始まりました。亡くなられた方々のご冥福を心からお祈りするとともに、海岸堤防が完成する平成30年頃には、津波のリスクが大幅に軽減され、復興拠点となる中野地区に企業活動が開始できるよう整備を進めてまいりたいと考えております。

かねてより自民党から県内の学校などにある除染土壌等を早急に搬出できるように、町有地を一時的に提供してほしいとの要請に対しては、双葉町の子どもたちが県内各地の学校に就学し、お世話になっていることから、あくまでも一時的

な仮置き場として町有地を国に提供することはやむを得ないとの町としての考えを議会全員協議会で説明したところ、広く町民の声を聞くべきとのご意見をいただきました。町民会議、行政区長会、自治会の会合等で説明し、その結果を8月4日に開催した議会全員協議会で報告し、町議会からも了承を得たところです。現在県内各地の学校から除染土壌等を搬出するための調整が国との間で行われています。

8月2日から8日まで、半谷淳教育長を団長としてニュージーランドで海外研修を行った14人の中学生が無事に帰国し、安堵いたしました。外国の自然や文化、社会に触れ、一回り成長した子どもたち。この経験は必ず子どもたちの大きな力になると信じています。

さて、この夏はブラジルのリオデジャネイロで華々しくオリンピックが開催され、8月16日には渡邊一成選手が男子ケイリン競技に出場しました。試合当日はいわき事務所において渡邊選手のご両親をはじめ集まった町民の皆さまや職員とともにインターネットで流れる映像を見ながら、リオに届けと日の丸の旗を振り精一杯の声援を送りました。厳しい避難生活が続く中、渡邊選手にはたくさんの勇氣と希望をいただき心から感謝と御礼を申し上げます。大変お疲れさまでした。夏から秋へと季節が変わります。季節の変わり目は体調を崩しやすい時期なので、健康管理にはくれぐれもご注意ください。ますようお願いいたします。

双葉町長 伊澤 史朗

平成28年度 双葉町住民意向調査

町の復興計画を検討する上で基礎資料となる大切な調査です

今後の生活設計や帰還意向について、皆さまのお考えを把握するため、今年度も復興庁、福島県との合同で住民意向調査を実施します。

この調査は、町民の皆さまの今後の生活設計などの考えを把握し、ご意見やご要望などをお伺いをすることを目的に実施する調査です。この調査で皆さまからいただいたご意見やご要望は、今後の施策を進めるための貴重な基礎資料として活用させていただいております。多くの町民の皆さまの声を反映した「町民一人一人の復興」「町の復興」が進められるよう、本調査へのご協力をお願いいたします。



対象者 全世帯の代表者

- 分散避難されている場合は、それぞれの避難先へ調査票を送付しますので、送付された代表者ごとに回答をお願いします。

調査方法 調査票を送付し、記名方式による実施

- 同封の返信用封筒へ調査票を封入し、郵便ポストへ投かんしてください。

実施期間 日にちが決まり次第、町公式ホームページなどでお知らせします。

9月中旬～9月下旬

【問い合わせ先】 復興推進課 復興推進係 ☎ 0246-84-5203

原子力損害賠償紛争審査会による現地視察が行われました — 今後の審査会の審議に向けて要望 —

7月27日、中間指針等に基づく賠償の実施状況を確認するため、原子力損害賠償紛争審査会による現地視察が、審査会委員や国の関係者など約20人が参加して行われ、中野地区では伊澤史朗町長が復興産業拠点基本構想の概要について説明しました。

さらに、伊澤町長から「原子力損害賠償紛争審査会の今後の審議に向けた要望書」を鎌田薫会長に手渡し、避難指示区域内の中でも特に状況が厳しい双葉町の現状を訴え、要望内容について理解を求めました。

鎌田薫会長からは、「ご指摘いただいた点を検討し、審査会として審議を深める必要があれば、しっかりと審議していきたい」とのお話がありました。

その後、双葉駅周辺や中心市街地などをバスで視察し、大震災と原発事故から5年以上が経過しても復興が進んでいない厳しい現状を確認しました。

【原子力損害賠償紛争審査会の 今後の審議に向けた要望（要旨）】

被害者一人ひとりの被害実態に即した賠償等が確実になされ、生活再建等を確実に果たすことができるよう、以下の事項について審査会において審議し、指針に明示するよう強く要請する。

- ①避難生活の長期化による精神的苦痛に係る賠償等
- ②避難指示区域内の営農損害に係る賠償
- ③避難指示区域内の営業損害及び就労不能損害
- ④地方公共団体の財物に係る賠償



双葉町の復興に向けて 国関係省庁等に対して要望活動を行いました

7月19日、20日、岩本久人双葉町議会副議長、田中清一郎町商工会長とともに、復興庁、経済産業省、厚生労働省、環境省、文部科学省、国土交通省、総務省などを訪問し、大臣、副大臣などに要望書を手渡しました。

主な要望項目は次のとおりです。

- ・復興財源と国の支援体制の長期的な確保
- ・帰還困難区域の取扱方針と双葉町への帰還可能時期の早期提示等
- ・「中野地区復興産業拠点」の整備に向けた取組への支援
- ・双葉町内の早期除染の実施
- ・被害実態に即した賠償の実施と長期避難が続く双葉町民の生活再建支援
- ・避難者に対する高速道路の無料措置の延長
- ・高齢者が安心できる医療・福祉施策の支援継続・充実
- ・中間貯蔵施設
- ・町商工事業者の事業再開



震災アーカイブ事業に取り組んでいます

町では、東日本大震災及び原発事故から5年以上経過する中で、震災では何が起こり、どのような被害があったのか。また、被災により町がどのように変わってしまったのかなど、震災からこれまでの状況を記録・保存して、末永く後世に残し伝えるために「震災アーカイブ（記録・保存）事業」に取り組んでいます。

取組 1 震災記録誌制作

東日本大震災及び原発事故の被害状況、町民の皆さまの避難生活の状況、被災体験談などを掲載した「双葉町震災記録誌」を制作し、平成29年3月上旬に全世帯へ配付します。

町では、この記録誌制作にあたり東日本大震災関連写真を募集しています。地震・津波災害や避難所での様子等を撮影した写真や動画がありましたらご提供くださいますようお願いいたします。



【地震直後の役場庁舎内の様子】

取組 2 3Dレーザー測量

震災による被害を受けた「ふるさと双葉町」の今の風景を、3Dレーザー測量することにより3D（三次元）映像データで記録します。今年度は、津波被災地域、中心市街地など約8km²をドローン（無人航空機）や据置型レーザー測量機を利用して測量します。また、町民の皆さまの母校として親しまれた双葉中学校、双葉北小学校、双葉南小学校、ふたば幼稚園や津波により大きな被害を受けたマリーナハウスふたばを含む5施設については、建物の内部も詳細に記録します。

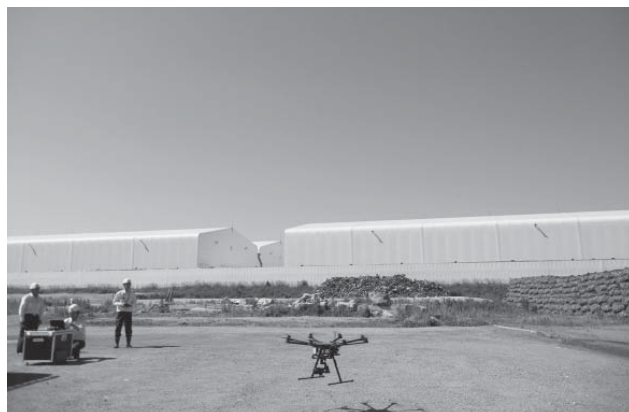
記録した3Dデータは、今後導入を予定しているMR（複合現実感）システムによって立体的に映像化することができ、仮想空間として体験することできるようになります。



【MRシステムで立体映像を見ている様子】
特殊なゴーグルを付けると、その場所にいるような仮想空間を体験することができます。



据置型レーザー測量機で測量するイメージ



ドローンで空間測量するイメージ

- 3Dレーザー測量は、㈱ふたばが町から受託して作業を行います。町民の皆さまが一時帰宅などで立入りする際に、支障にならないよう注意して作業を進めますのでご理解願います。
- ドローンによる空撮を行う際に、道路に標定点（白い十字の目印）という目印を付けます。時間の経過により消えてしまうものですが、消さないようにご協力願います。

【問い合わせ先】秘書広報課 ☎0246-84-5202

生活サポート補助金説明会を開催します

「生活サポート補助金（中間貯蔵施設整備等影響緩和補助金）」の申請書を9月下旬にお送りし、申請受付を10月3日（月）から開始いたします。これに伴い、具体的な申請書の書き方などについての説明会を次の日程で開催します。「申請書が届いたが書き方がよく分からない」、「こんな場合はどうしたら良いのか」など、お困りの方はぜひご来場ください。

説明会、個別相談とも電話による事前の申し込みや予約が必要ですので、下記「生活サポート補助金」コールセンターまでお電話ください。

なお、各会場の都合上、説明会、個別相談とも参加いただける人数に限りがございますのでご了承ください。

■ 予約申し込み先

双葉町「生活サポート補助金」コールセンター

フリーダイヤル

0120-280-707

■ 内容

○全体説明

申請書を使って、具体的な書き方などを皆さんに説明します。

○個別相談（予約者のみ）

専用ブースで、個別事情に合わせた申請の仕方などを相談できます。

■ 日程

日 時	地 域	会 場
10月 4日（火）	いわき市	10:00～12:00
		14:00～16:00
10月 7日（金）	会津若松市	10:00～12:00
		14:00～16:00
10月 11日（火）	白河市	白河市立図書館
10月 12日（水）	福島市	コラッセふくしま
	郡山市	郡山市中央公民館
10月 15日（土）	加須市	加須文化・学習センター「パストラルかぞ」
	宇都宮市	とちぎ男女参画センター「パルティ」
10月 17日（月）	横浜市	横浜市技能文化会館
10月 18日（火）	東京都	T K P 東京駅前会議室
	船橋市	船橋ツインビル Rental 会議室
10月 19日（水）	さいたま市	T K P 大宮ビジネスセンター
10月 23日（日）	いわき市	10:00～12:00
		14:00～16:00
10月 25日（火）	つくば市	つくば市市民ホールやたべ
10月 26日（水）	日立市	日立シビックセンター
10月 30日（日）	南相馬市	9:30～11:30
	仙台市	15:00～17:00
11月 3日（木） （祝日）	東京都	T K P 東京駅前会議室
	さいたま市	14:00～16:00
11月 6日（日）	郡山市	福島県農業総合センター
	会津若松市	14:00～16:00
11月 7日（月）	柏崎市	柏崎市文化会館アルフォーレ
11月 12日（土）	いわき市	14:00～16:00

※会場住所など詳細については、9月15日発行の「ふたばのわ9月号」に同封します。

灯油、混合油、ガソリンなどの 廃油回収開始のお知らせ

環 境 省
双葉町住民生活課

環境省では、ご自宅等に残置された灯油、混合油、ガソリンなどの回収を8月から開始いたしました。回収をご希望の方は下記申し込み先までご連絡ください。

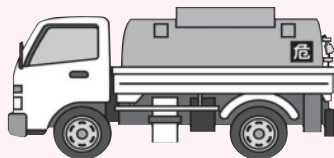
なお、環境省による廃油等の回収・処分を希望される場合の費用負担は発生しません。ご理解・ご協力をお願いいたします。

【申し込み先】東京電力ホールディングス(株)

【電話番号】080-6847-2986

【受付時間】9:00～17:00

(土・日・祝日を除く)



タブレット端末は お使いいただいていますか？

町が配布しましたタブレット端末（ICTきずな支援システム事業）は、町からのお知らせや町民同士の投稿など便利な機能があり、多くの町民の皆さまにお使いいただいております。

町では、タブレット端末を快適にご利用いただくため、また、操作方法に関する疑問や不安を解消するため、各地で相談会や電話によるサポートを行っております。

なお、タブレット端末を受け取ったが今後も使う予定がない場合は、返却もできます。

操作方法がわからない、タブレット端末を返却したいなどのご質問・ご要望がありましたら、下記問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

【問い合わせ先】

双葉町 ICTきずな支援システム
運営サポートセンター事務局

☎ 0120-916-037

(受付時間：平日 9時～18時)



お知らせ

双葉町コミュニティーセンター内部を改修し、一時立入り者等の休憩所として早期にご利用頂けるよう現在諸手続きを進めております。今後、ご利用開始日等が決まり次第お知らせする予定ですが、事前に施設の設備・運用についてご案内いたします。

＜休憩施設名＞

- 双葉町コミュニティーセンター
(双葉町大字長塚字町西 39 番地の 22)

＜利用可能な設備環境等＞

- ①男女トイレ、多目的トイレ
(水洗・井戸水使用)
- ②休憩場所(多目的スペース(1階)イス・
テーブル設置)
- ③冷暖房機利用可能
- ④AED(自動体外式除細動器)の設置
- ⑤冷蔵庫(ペットボトル飲料水を無料で
ご提供)

＜ご利用時間等＞

- 開館時刻：午前 9 時(天候事情や交通事情等により開館
が遅れる場合があります。)
- 閉館時刻：午後 3 時

＜休館日＞

- ①コールセンター申し込みによる町民の一時立入りが休み
となる、毎週水曜日と木曜日が休館日となります。
 - ②9月26日(月)～9月29日(木)、12月21日(水)
～翌年1月19日(木)、3月23日(木)～4月上旬が
長期の休館日となります。
- ※休館日は、施設内の掲示板にも掲示しますのでご確認ください。

※施設管理として、開館時間中1～2名の臨時職員が常駐する予定です。

※双葉町コミュニティーセンター(休憩所)ご利用開始日等は、改めてお知らせいたします。

【問い合わせ先】住民生活課 住民支援係 ☎0246-84-5206

双葉町人権擁護委員に倉田 美佐子さんが再任されました

人権擁護委員は、法務大臣が委嘱するもので、人権相談を受けたり、人権の考えを広める活動を行ったりしています。

任期は、平成28年7月1日から平成31年6月30日までです。

相談は無料で秘密は厳守します。



【問い合わせ先】

福島地方法務局いわき支局 ☎ 0246-23-1651

「法の日週間」特設相談所開設のお知らせ

10月4日、下記において特設人権相談所が開設されます。相談は無料で、秘密は厳守します。困りごとや悩み事などお気軽にご相談ください。

〈日 時〉平成28年10月4日(火) 午前10時～午後3時

〈場 所〉双葉町いわき事務所 1階会議室
福島県いわき市東田町2丁目19番地の4

また、「法の日週間」に限らず、電話相談を実施しておりますので、悩み事がありましたら右記のダイヤルにお電話ください。

相談は無料で、秘密は厳守します。

みんなの人権110番

0570-003-110

子どもの人権110番

0120-007-110

女性の人権ホットライン

0570-070-810

日本赤十字社主催

避難地域住民交流会のお知らせ

双葉町民同士の絆の維持のため、今年も交流会を開催します。多くの皆さまの参加をお待ちしています。

○場 所…「飯坂ホテル聚楽」
福島市飯坂町西滝ノ沢27
☎ 024-541-2501

○日 時… 10月6日(木) 日帰り
10:30～15:00

○定 員… 150人(先着順)

○申込方法… 9月1日(木)から9月16日(金)までに、下記申し込み先へ氏名、年齢、性別、郵便番号、現住所、双葉町住所、連絡先及びバス乗降場所をお伝えください。

※詳しくは、8月15日発送の同封チラシをご覧ください。

【問い合わせ・申し込み先】

双葉町 郡山支所 生活支援課
☎ 024-973-8090

浜野行政区からのお知らせ

浜野行政区長 菅本 洋

浜野大字総会・交流会を下記により開催しますのでご参加ください。

○日 時… 10月1日(土)～2日(日) 1泊2日
総 会… 午後3時～
交流会… 午後6時～

○場 所… 太平洋健康センター 勿来温泉関の湯
いわき市勿来関田須賀1-4
☎ 0246-65-1126

○参加費… 宿 泊… 12,000円
交流会(食事)… 7,700円

○申込締め切り… 9月23日(金)

※交通費・宿泊費は生活サポート補助金を活用してください。

【申し込み先】

菅本 洋 ☎ 080-1655-8858
荒木 茂 ☎ 090-4317-6063

2つの給付金申請に係るお知らせ

消費税の引き上げに伴う負担の緩和及び賃上げの恩恵が及びにくい障害・遺族基礎年金受給者の支援を目的に、給付金を支給します。

対象と思われる方へ9月中旬以降順次申請書を発送する予定です。下記内容をご覧ください、案内開始までお待ちください。

平成26年4月に実施した
消費税率引き上げに伴う
所得の少ない方への影響を緩和します。

一億総活躍社会の実現に向け、
賃金引き上げの恩恵が及びにくい
所得の少ない年金受給者の方を支援します。

臨時福祉給付金

1人につき3千円

＜支給対象者＞

平成28年度分の住民税
(均等割)が非課税の方

障害・遺族年金受給者 向け臨時福祉給付金

1人につき3万円

＜支給対象者＞

平成28年度臨時福祉給付金の支給対象者の
うち、平成28年5月分の障害基礎年
金・遺族基礎年金等を受給している方

*住民税において、課税者の扶養親族となっている場合は対象
となりません。

*高齢者向け臨時福祉給付金(3万円)の受給者も対象です。

*高齢者向け臨時福祉給付金(3万円)の受給者は対象となりません。



- 両方の支給対象者に該当する方は、2つの給付金を受給できます。
- 支給はどちらも1回です。
- 給付金を受け取るためには、申請が必要です。
- 収入・所得がない方でも住民税の申告をしていないと対象とならない場合があります。



＜申請・問い合わせ先＞ 健康福祉課 福祉介護係 ☎ 0246-84-5205

9月10日(土)～9月16日(金)は、自殺予防週間です

自殺予防週間は、平成24年8月に閣議決定された「自殺総合対策大綱」により、国、地方公共団体などが連携して啓発活動を推進し、あわせて、啓発事業によって援助を求めるに至った悩みを抱えた人が必要な援助を受けられるよう、支援策を重点的に実施することとされています。

最近の調査では、18歳以下の自殺は8月下旬から9月上旬の学校の長期休業明けに増加する傾向にあります。休み明け直後は、児童生徒にとって生活環境が大きく変わり、プレッシャーや精神的動揺が生じやすいためと考えられています。

このような時期に、児童生徒の見守りの強化や家庭が児童生徒にとって居心地の良い場所か、悩みを相談できる親子関係にあるかなどを話合ってみてはいかがでしょうか。

○こころの健康相談
統一ダイヤル
☎ 0570-064-556

○よりそいホットライン
☎ 0120-279-338

○いわき事務所 健康福祉課
☎ 0246-84-5205
(平日8:30～17:00)

双葉町中学生海外派遣事業

14人の中学生ニュージーランドへ！

これから出発！！



8月2日、双葉町海外派遣事業によりニュージーランドへ向かう中学生がいわき事務所で出発式に臨み、代表の澤上美羽さんが「積極的にコミュニケーションを取り、見聞を広げてきたい」と誓いの言葉を述べました。その後、バスで成田空港へ向かい、現地集合の生徒と合流してニュージーランドの飛行機に乗り込みました。

到着後すぐに、国内線に乗り換えクライストチャーチへ。現地は気温が約10度と、日本との気温差は20度にもなりました。

初めに、現地の学校の生徒と交流し、授業の様子を参観しました。交流の記念として、半谷淳教育長が双葉ダルマを贈呈すると大変喜ばれました。

3日目は、3つのグループに分かれ、ホームステイでお世話になるホストファミリー宅へ。各家庭では、農業体験や家事の手伝いなどをさせていた

だいたり、家庭料理をご馳走になったりと貴重な体験をしました。



この経験が生徒たちの今後の生活に生かされることを願います。



クライストチャーチの復旧の様子を見学



4日目からは、各地を観光しました。東日本大震災と同じ年に被災したクライストチャーチの復旧の様子や日本人学生が犠牲になったビル跡地を見学し、犠牲者の冥福を祈りました。その他、マオリ族の伝統的な踊りのショーや羊の毛刈りショー、国鳥である「キウイバード」を間近で見学し、とても感動していました。

生徒たちがニュージーランド滞在中で困惑したのは食事です。毎食のように肉料理が出され、食生活の違いに驚いた様子でした。

最終日は、帰国することへの安堵感が見られる中、成田行の便で日本への帰路に着きました。全員が無事に到着し、各避難先へ向かいましたが、研修期間中とても仲良くなった生徒たちは、別れを惜しむ姿が見られました。

ホストファミリーと一緒に！



ハグレー公園にて集合写真



オックスフォードの学校を訪問



全員で夕食



相馬野馬追

国指定重要無形民俗文化財

相馬武士の魂を胸に いざ出陣

7月23日から25日まで3日間にわた
り、南相馬市雲雀ヶ原祭場地において
国指定重要無形民俗文化財「相馬野馬
追」が開催されました。一千有余年の
伝統ある祭りは、あいにくの天候の中
での開催となりましたが、出場騎馬数
440騎、観客数は祭場地、沿道合わ
せると約10万人にも上りました。

相双地区の五郷騎馬会（宇多・北・
中ノ・小高・標葉）から鎧兜で身を固
めた騎馬武者が出陣。雲雀ヶ原祭場地
を目指して威風堂々の「武者行列」、
勇壮果敢な「甲冑競馬」や「神旗争奪

戦」など、戦国絵巻の再現に大勢の観
客が酔いしれました。

また、本祭りでは、震災後初となる
標葉郷双葉町・大熊町による相馬流れ
山踊りが披露されました。朝から止ま
なかつた雨が披露の時間がくると上が
り、踊り手の皆さんの気持ちも一層高
まりました。大勢の観客を前に緊張が
伝わってきましたが、練習を重ねて自
信を持った皆さんの踊りは、動きが
揃っていてとても素晴らしいものでし
た。相馬流れ山踊り保存会の中村富美
子会長は「厳しい状況の中、ここまで
来れて良かった」と話されました。

出陣された皆さんは、伝統ある相馬
野馬追祭をこれまで守り続けてきた誇
りを後世へ引き継ぐことを誓うととも
に、ふるさとの復興を願いながら3日
間の日程を終えました。



勘定奉行 谷津田 光治



軍者 中川 健治



副執行委員長代理 半谷 淳



御使番 中川 巧一



組頭 中川 準



組頭 山本 秀次

本年度出場者(敬称略)

県民スポーツ相双地域大会

9人制バレーボール 優勝

8月7日、南相馬市を会場に第69回福島県総合体育大会県民スポーツ相双地域大会が開催され、双葉町からは、9人制バレーボールと壮年ソフトボールの2競技に出場しました。

9人制バレーボールは、石神中学校を会場に2つのブロックに分かれてリーグ戦が行われ、第1試合は南相馬市と対戦し、セットカウント2対0で勝利し、決勝進出を決めました。決勝は相馬市と対戦。序盤は、相馬市の高い技術力に手に汗握る接戦となりましたが、それを上回る攻撃力とチームワークで見事勝利し、優勝しました。終了後、菊池直子監督は「郡スポーツ大会の悔しさをバネに、練習以上の力を出してくれた。本当に嬉しい」と選手を称えました。



壮年ソフトボール 準優勝

壮年ソフトボールは、北新田運動場を会場にトーナメント戦が行われ、1回戦は富岡町と対戦し16-2とコールド勝ちしました。南相馬市との準決勝も勝利し、決勝に進出。決勝戦では浪江町と対戦し、最後まで諦めないプレーで追い上げを見せましたが、惜しくも時間切れとなり7-6で準優勝となりました。

出場した2競技で素晴らしい成績を残し、嬉しいニュースとなりました。

○9人制バレーボール

優勝…双葉町、準優勝…相馬市、第3位…富岡町・南相馬市

○壮年ソフトボール

優勝…浪江町、準優勝…双葉町、第3位…南相馬市・川内村
選手の皆さん、暑い中での熱戦、大変お疲れさまでした。



双葉ふれあいクラブから 双葉町民ゴルフ大会のお知らせ

- 日 時… 10月10日(月・祝) 小雨決行
- 場 所… いわき市サラブレットカントリークラブ
いわき市渡辺町上釜戸字上ノ代245
☎0246-56-0123
- 参加人数… 40人～50人程度
- 参加費… 13,000円(プレー代、参加費、昼食代)
※当日、ゴルフ場へお支払いください。

【申し込み・問い合わせ先】

双葉ふれあいクラブ事務局 ☎ 0246-38-3325
FAX 0248-21-6188

- 申し込み締め切り… 9月23日(金)まで
 - 参加資格… 双葉町民または現在町事業所に勤務している方、及び平成23年3月11日当日に町事業所に勤務していた方
 - 競技方法… ①18ホールストロークプレー
②スルーザグリーン6インチプレー
③ダブルペリア 12ホール
- ※組み合わせ希望も受け付けます。
※組み合わせとスタート時間は、大会前に事務局より郵送します。

第10回 市町村対抗福島県軟式野球大会

皆さんの応援よろしく
お願いします!

開会式：9月10日(土) 15:00
あづま球場

試合日：9月11日(日) 11:30～

第3試合

双葉町 対 新地町

会 場：あづま球場(福島市)

— 選手名簿(敬称略) —

- | | | |
|-----------------|-----------|-----------|
| 1. 加藤 秀樹(監督兼選手) | 10. 石上 崇 | 19. 石澤 拓也 |
| 2. 伊澤 慶昭(主将) | 11. 加藤 裕樹 | 20. 中川 湧斗 |
| 3. 里見 淳 | 12. 中川 雅斗 | 21. 門馬 雄介 |
| 4. 平賀 健太 | 13. 板井 克也 | 22. 栗田 健一 |
| 5. 大友 裕太 | 14. 青田 隆志 | 23. 山田 琢磨 |
| 6. 小林 康弘 | 15. 伊澤 亮 | 24. 橋本斗輝也 |
| 7. 谷津田淳之 | 16. 伊藤 雅明 | 25. 井戸川直樹 |
| 8. 加村 晴也 | 17. 佐藤 修 | |
| 9. 高萩 文孝 | 18. 菊池 光浩 | |

いわき・まごころ双葉会

◆ 薄磯団地自治会との交流 ◆

七夕飾りの下で交流

7月31日、いわき市の薄磯団地において薄磯団地自治会との交流が行われました。

当日は、7月8日に共同制作された七夕飾りが薄磯団地の皆さんにお披露目され、いわき・まごころ双葉会の皆さん約10人は薄磯団地自治会の方々と、七夕飾りの下でバーベキューをしながら交流を深めました。

天気が良く、暑い日となりましたが、色鮮やかな七夕飾りが時折吹く海からの心地よい風に吹かれて揺れる様子を見て、参加した皆さんは笑顔で七夕飾りを見上げていました。

いわき・まごころ双葉会の大橋庸一事務局長、薄磯団地自治会の大河内会長共に「今後も様々な形で交流していきたい」と話されました。

平七夕まつり

いわき市を代表する夏祭りとして、また、平の夏の風物詩として親しまれている平七夕まつりが8月6日から8日まで、いわき駅前商店街において開かれ、共同制作された七夕飾りが飾られました。緑・水色・赤の3色の飾りは「双

葉町」「薄磯地区」がイメージされており、まさに交流の証となりました。

いわき・まごころ双葉会と薄磯自治会の皆さんが、見物に訪れる方々を笑顔で迎え、交流も深まり、さらに、同じくいわき市に避難している富岡町の皆さんの自治会「すみれ会」の方々も訪れ、お互いの七夕飾りについて会話を弾ませていました。

出展も4年目となり、平和通り商店会ともすっかり顔なじみとなりました。暑い中での参加というところで扇風機を貸していただいたり、差し入れをいただいたりと、地域との交流の場にもなっていました。



【申し込み・問い合わせ先】

双葉町復興支援員（ふたさぼ）、または「大望年会準備委員会」へお申し込みください。
※参加者名、参加人数、連絡先、双葉町の行政区、当日の交通手段をお知らせください。
※ご不明な点などがあれば、お気軽にお電話ください。

《大望年会準備委員会》

- ・谷 尚之（三字）（東京） ☎090-7072-0959
- ・和泉 英二（三字）（東京） ☎090-8921-3907
- ・佐藤 孝一（山田）（東京） ☎080-5571-3694
- ・千代田 信一（羽鳥）（千葉） ☎090-9422-0593
- ・山田 五郎（山田）（栃木） ☎090-7324-4864
- ・志賀 仁（鴻草）（栃木） ☎080-5225-9702
- ・千吉良 高志（三字）（群馬） ☎080-5568-7091



たくさんの皆さまの
参加をお待ちしてい
ます！！

千葉県及び近隣地域にお住いの双葉町民の皆さまへ

9月に今年度第1回目の「千葉ひまわり会」交流会（食事をはさんだ懇談会）を計画しています。皆さまのご参加をお待ちしています。

日 時：9月30日（金）12時00分～

参加費：2,500円前後（昼食代・予定）

場 所：銀座アスター 西武船橋店10階レストラン街

- ・JR船橋駅シャポー口改札 徒歩1分
- ・東武船橋駅（改札は1つ） 徒歩3分
- ・京成船橋駅東口 徒歩3分

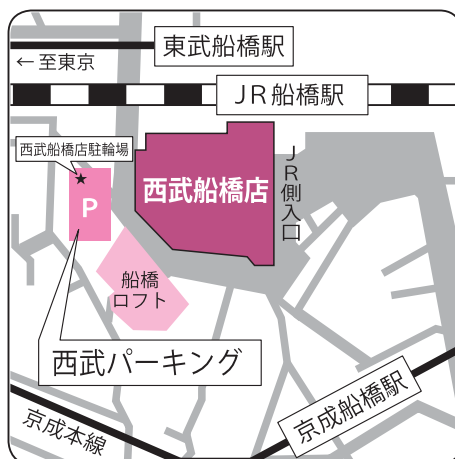
申し込み締め切り：9月20日（火）

※双葉町以外から千葉県へ避難している方もご参加いただけます。

【申し込み・問い合わせ先】 千葉ひまわり会

- ・千代田 信一（羽鳥） ☎090-9422-0593
（19時以降にご連絡ください）
- ・松浦 トミ子（鴻草） ☎090-3334-3984
- ・双葉町復興支援員（ふたさば）秋元
☎070-5550-7645

※ご不明な点などがあれば、お気軽にお電話ください。



銀座アスター 西武船橋店
☎0471-42618701



「大望年会 in 関東」のお知らせ

12月に下記日程で双葉町民の「大望年会 in 関東」を計画しています。
懐かしい皆さんで再会しませんか？皆さまのご参加をお待ちしています。

日 時：12月4日（日）～12月5日（月）（1泊2日）

（受付：15:00～、交流会：18:00～21:00）

参加費：15,000円程度（1泊2食付き）

場 所：きぬ川ホテル三日月 ☎0288-77-2611（代表）

栃木県日光市鬼怒川温泉大原1400

- ・東武鉄道鬼怒川温泉駅より徒歩3分
（鬼怒川温泉駅を出ると正面にホテルが見えます。）
- ・東北自動車道宇都宮ICより日光宇都宮有料道路に接続し、今市ICより約25分
- ・東北自動車道矢板ICより約40分

（お車はホテル玄関先へつけて、案内をお待ちください。ホテル駐車場：割引あり。）

申し込み締め切り：11月18日（金）

※現地集合、現地解散（現地までの交通手段の確保、交通費のご負担は各自でお願いします。）

※関東地方以外からの参加も可能です。



きぬ川ホテル三日月

《主催：双葉町復興支援員（ふたさば）秋元・飯嶋》

☎070-5550-7645

✉ f-saitama@futabamachi-s.com

右ページに申し込み
連絡先等掲載しています

中学生職場体験学習

町立学校が夏休みに入った7月21日から27日までの5日間、双葉中学校2年生の生徒2人がいわき事務所へ職場体験学習に訪れました。

初日は、武内裕美総括参事から双葉町についての講話を受けた後、各課長から各課の業務について説明を受けました。2人の生徒は真剣な態度でメモを取りながら熱心に話に耳を傾けていました。

2日目以降も、各課の業務を体験したり、委員会などの会議を傍聴、支援員・新規採用職員と意見交換したりしました。委員会では委員の皆さんと一緒にグループに入り、町の復興について自分の意見を述べるなどの体験もしました。

緊張している様子の2人でしたが「役場の仕事の様子がわかった。色々な会議などに参加させてもらえて勉強になった」と感想を述べていました。



武内総括参事による講義



復興町民委員会傍聴

グループホームせんだんの家 ～夏祭り～

8月5日、いわき市南台仮設住宅において、グループホームせんだんの家の夏祭りが開催されました。

現在、いわき市錦町に施設再建に向けて工事が行われており、来年7月に施設が開所予定です。仮設の施設での夏祭りは最後になるため、仮設住宅に住む高齢者の方々も参加し、盛大に行われました。

職員の皆さんによるダンスやビンゴゲーム、魚釣りならぬお菓子釣り、更には流しそうめんも行われました。利用者の皆さんは笑顔で参加し、ご家族や仮設住宅の高齢者の方々からの拍手やたくさんの方々の笑い声に包まれて大変盛り上がりしました。

すべてが職員の皆さんによる工夫を凝らした手作りの催しで、温かさが感じられる夏祭りとなりました。



◆ 特別養護老人ホーム「せんだん」正職員募集 ◆

平成29年7月いわき市錦町にオープン予定の特別養護老人ホーム「せんだん」では、オープニングスタッフとして働いていただける介護職員を募集しています。



施設完成予想図

ホームページ：http://futaba-fukushikai.or.jp/

「やさしい思いやり、いつも笑顔が絶えない施設づくり」を目指して、一緒にキャリアアップしていける方であれば、年齢や性別、介護に係る資格・経験の有無は問いません。職員宿舎も完備しています。この機会に、ぜひご応募ください。

施設見学をご希望の方は、随時受け付けています。採用面接には、お電話にてご連絡の上、履歴書(写貼)持参でお越しください。採用情報の詳しい内容は、法人ホームページに掲載しております。

【問い合わせ先】

社会福祉法人 ふたば福祉会 ☎ 0246-88-8040

中間貯蔵施設に係る弁護士相談窓口のご案内

中間貯蔵施設の建設に伴い町民の皆さんが抱える不安や諸問題に対応するため、弁護士による相談窓口を設置します。当該施設建設に伴う権利関係等の疑問点について、助言を聞くことができます。

相談できること

中間貯蔵施設に伴う契約、地上権、相続等について

(相談窓口の弁護士は直接価格交渉に関わることはできません)

- ◇ 対象者 双葉町内の中間貯蔵施設建設予定地内の地権者の方
- ◇ 相談料 無料
- ◇ 相談時間 1回につき30分以内
- ◇ 申込方法 事前申し込みになりますので下記の連絡先までご連絡をお願いいたします。

◇ 開催場所及び開催日時

実施場所	開催日	開催時間	所在地
双葉町 いわき事務所	平成28年9月 8日(木)	午後2時から午後5時	福島県いわき市東田町2-19-4
双葉町 郡山支所	平成28年9月15日(木)	午後2時から午後5時	福島県郡山市朝日1-20-2
双葉町 いわき事務所	平成28年9月30日(金)	午後2時から午後5時	福島県いわき市東田町2-19-4

【申し込み・問い合わせ先】

建設課 復旧復興係 ☎ 0246-84-5209 受付時間 午前8時30分から午後5時15分(平日)

環境省 福島環境再生事務所からのお知らせ ～中間貯蔵施設について～

◇ 輸送について

➤ 双葉町内中間貯蔵施設保管場の試験輸送の状況は下記のとおりです。

○実施中

双葉町(5月12日開始)・浪江町(6月20日開始)・伊達市(7月8日開始)

伊達市の小学校(7月30日開始)

➤ お彼岸期間中(9月17日～9月25日)は試験輸送を休止する予定です。

◇ 保管場及び陳場下交差点の放射線監視

➤ 空間線量率の測定により、除染土壌等の搬入による周辺への影響は見られないことが確認されています。今後もしっかりと安全対策及び放射線の監視を行ってまいります。

➤ 中間貯蔵施設及び周辺モニタリングの結果については、以下のJESCO(中間貯蔵・環境安全事業株式会社)のHPで公表しております。

(URL) <http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html>

【問い合わせ先】福島環境再生事務所 中間貯蔵施設等整備事務所
調査設計課 ☎ 024-563-1293





当センターでは福島県からの委託を受け、東日本大震災で被災された方々への支援活動を行っています。

その活動の一環として、今年度は3回、心の健康に関するテーマでお話しさせていただくこととなりました。

第2回目 『眠れてますか？ ～うつ病について』

【もしかして…うつ病？】

あなたの身の回りで、こんな状態の方はいませんか？

「前は社交的だったのに、最近はあまり話をしなくなった…」、「身だしなみなどに無頓着になった…」、「以前よりも元気がなくなり、表情も冴えない…」もしこうした症状が2週間以上続いたら、それは「うつ病」の初期症状かもしれません。

うつ病には上記のような『心の症状』だけでなく、『体の症状』もあります。

体の症状の代表例「睡眠の乱れ（なかなか寝付けない、夜中に何度も目が覚める、目覚ましが鳴るよりも早く目が覚めてしまう）」、「食欲がない」、「体が重だるく、疲れが取れない」、「息苦しさや動悸」、「胃や関節など、体の痛み」などがあり、この中でも特に「睡眠の乱れ」は初期症状としてよく見られます。



【どうしてうつ病になるの？】

一生のうちにうつ病を経験する人は10～15人に1人と言われ、誰もがなる可能性のある病気です。

その原因は複雑ですが、わかりやすく言い換えるとうつ病は「心のガス欠」のようなものです。例えば『人間関係や生活環境など、周囲の環境・状況がストレスの非常に多い状態である』、『身近な人が亡くなる、病気になる、ケンカなどのトラブルが起きる』、『失業や引っ越し、借金といった生活上、強いストレスとなる出来事を経験する』など、こうしたことが継続して積み重なると、心のエネルギーが低下していきます。

休息を取ったり運動をするなど、いわゆるストレス解消・発散をすることで通常はエネルギーが回復するのですが、上記のようなことがあまりに重なってしまうと回復が追いつかず、結果的に「ガス欠」になってしまふことがあります。そうすると、「頑張ろうしても、意欲がわかない」「体が重い、疲れが取れない」といった状態になってしまい、それまでは何とか対処できていたことでもうまく対処できなくなってしまいます。この状態がうつ病の初期の段階です。

【うつ病の初期症状にあてはまるときは…】

うつ病の治療の基本は「十分に休養を取る」ことであり、そして「お薬」や「カウンセリングなど」などを併用します。うつ病はいわば「心のガス欠」状態であるからこそ、まずは十分な休養をし、エネルギーを蓄えていく時間が必要なのです。

また、うつ病かな？と気づいたのがごくごく早期の段階であれば休息に加え、生活習慣の見直しで症状が改善することがありますが、素人判断で症状を軽く見てしまうと、適切なタイミングで適切な対処をしなかったためにかえって症状が長引いてしまうこともありますので、もしあなた自身が、あるいは家族や友人などの身近な人が「今までとちょっと違うな」と感じたときには、ぜひご相談ください。



■ セルフチェック【最近2週間に以下のような問題がどのくらいの頻度でありましたか？】

	全くない	数日	2週間の 半分以上	ほぼ毎日
何かやろうとしてもほとんど興味がもてない、楽しくない	0点	1点	2点	3点
気分が重かったり、ゆううつだったり、絶望的に感じる	0点	1点	2点	3点

Patient Health Questionnaire (PHQ-2) for Depression Screening

2つの質問への回答の合計が3点以上の場合、専門の相談機関へのご相談をおすすめします。

【相談をご希望の方】

- ・健康福祉課 健康づくり係 ☎0246-84-5205 ・郡山支所 ☎024-973-8090
- ・ふくしま心のケアセンター 『ふくここライン』 ☎024-531-6522



健康コラム

9月9日は「救急の日」です

急に救急車を呼ばなくてはならない場合、慌てずに済むように普段からの準備や対応が大切です。そこで、今回は救急通報のポイントを案内します。

1. 救急車を呼ぶときの番号は「119番」

救える命を救うためには、応急手当が重要です。救急車が到着するまではどうしても時間がかかります。いざというときに、大切な方を救うためにも、正しい応急手当を身につけておきましょう。消防署では応急手当の講習を行っています。お近くの消防署に問い合わせせてみてください。



2. 救急車が来たら、このよう

なことを伝えて下さい。
・事故や具合が悪くなった状況
・救急隊が到着するまでの変化
・行った応急手当の内容
・具合の悪い方の情報
(持病、かかりつけの病院やクリニック、普段飲んでいる薬、医師の指示等)

3. 救急車を呼んだら、こんな

物を用意しておくとう便利です。

- ・保険証や診察券
- ・お金
- ・靴

・普段飲んでいる薬(おくすり手帳)

(乳幼児の場合は)

- ・母子健康手帳
- ・紙おむつ
- ・母乳瓶
- ・タオル

*持病、かかりつけの病院やクリニックなどは、日頃からメモにまとめておくとう便利です。

4. 応急手当をしている人以外

にも人手がある場合は

救急車の来そうなところまで案内に出ると到着が早くなります。

出典…

消防庁発行

「救急車を上手に使いましょう」より



△問い合わせ先▽

健康福祉課 健康づくり係
0246-84-5205

9月は「がん征圧月間」です。 早期発見のため、がん検診を受けましょう

がんは、日本人の死亡原因の第1位です。日本人の2人に1人が何らかのがんになると言われています。自覚症状が現れてからでは治療も困難になることが多く、早期発見することが大切です。がんは小さいうちに見つけ、早期治療することで生存率も高くなります。

町では、皆さまの健康管理を支援するために、健康診査・がん検診を実施します。ぜひ、健診を受けて健康状態をチェックし、健康づくり・生活習慣の見直しに役立てましょう。

がんの危険信号8カ条 (日本対がん協会制定)

がんは無症状のうちに芽生えます。次のような症状があったら、直ちに専門医に診てもらいましょう。

- ◆ 胃・・・胃の具合が悪く、食欲がなく、好みが変わったりしないか。
- ◆ 子宮・・・おりものや、不正出血はないか。
- ◆ 乳房・・・乳房の中にシコリはないか。
- ◆ 食道・・・飲み込むときに、つかえることはないか。
- ◆ 大腸・・・便に血や粘液が混じったりしないか。
- ◆ 肺・・・咳が続いたり、痰に血が混じったりしないか。
- ◆ 咽頭・・・声がかすれたりしないか。
- ◆ 舌、皮膚・・・治りにくい潰瘍はないか。
- ◆ 腎臓、膀胱、前立腺・・・尿の出がわるかったり、血が混じったりしないか。

がんを防ぐための新12カ条 (国立がん研究センター)

1. たばこは吸わない
2. 他人のたばこの煙をできるだけ避ける
3. お酒はほどほどに
4. バランスのとれた食生活を
5. 塩辛い食品は控えめに
6. 野菜や果物は不足にならないように
7. 適度に運動
8. 適切な体重維持
9. ウイルスや細菌の感染予防と治療
10. 定期的ながん検診を
11. 身体の異常に気がいたら、すぐに受診を
12. 正しいがん情報でがんを知ることから

がん検診は9月～12月の総合健診・乳がん検診で受診できます。(日程は「広報ふたば7月号」に掲載)

【問い合わせ先】 健康福祉課 健康づくり係 ☎0246-84-5205

双葉町社会福祉協議会

～ 9 月健康運動教室、社協サロンのお知らせ ～

こころとからだの健康のため、運動不足を解消しましょう。お気軽にご参加ください。

会 場	問合せ・申込先	開催月日	時 間
健康運動教室 （内容：健康講話、相談、運動機能の維持・向上等）			
福島市北幹線第二応急仮設住宅集会所	福島市飯坂町平野内小原田 8-1 ☎ 080-6033-1196（小林）	9月 1日（木）	13:30～15:00
		9月 15日（木）	
		9月 29日（木） 赤十字にここ健康教室	10:30～14:00
白河市郭内第二応急仮設住宅集会所	白河市郭内 151-29 ☎ 080-6290-5930（廣田）	9月 6日（火）	10:00～11:30
		9月 13日（火）	
		9月 20日（火）	
		9月 27日（火）	
南東北総合卸センター 2階第6会議室	郡山市喜久田町卸 1丁目 1-1 ☎ 024-973-5291（開発）	毎週火曜、水曜日 （祝日除く）	13:30～15:00

社協サロン（内容：健康講話、相談、趣味、生きがいづくり交流等）

※社協サロンでは昼食を準備致しますので事前に申込みをお願いします。

会津若松老人福祉センター	会津若松市城東町 14-52 ☎ 024-973-5291（開発）	9月 12日（月）	10:00～14:00
--------------	--------------------------------------	-----------	-------------

サポートセンターひだまり出張サロン

（内容：健康体操、健康講話、交流会等）

いわき市小名浜公民館 2階会議室	いわき市小名浜愛宕上 7-2 ☎ 0246-38-7105（渡邊）	9月 29日（木）	10:30～14:30
------------------	--------------------------------------	-----------	-------------

【問い合わせ先】双葉町社会福祉協議会 郡山事務所 ☎ 024-973-5291 【担当：開発】

双葉農業普及所からのお知らせ

双葉農業普及所は、毎月県内5カ所で、避難されている農家の皆さんの相談窓口を設置しております。

窓口では、相談者の現在の状況を聞き取らせていただきながら、皆さんが必要な情報、（農産物・土壌モニタリング結果、原子力災害に対応した農業技術情報、資金・事業の紹介など）をわかりやすくご説明いたしますので、お気軽にお越しください。

9月の日程は右記のとおりです。

※町村問わずに最寄りの窓口にお越しください。

※右記以降の日程は随時お知らせいたします。

双葉農業普及所ブログ「ふたばの農業通信」に掲載しておりますので、ご利用ください。
パソコン、携帯電話からご覧になれます（携帯電話のポケット料金にはご注意ください）

※時間：午前10時～正午

9月 8日（木）	双葉町いわき事務所 （いわき市東田町地内）
9月 9日（金）	大熊町いわき出張所産業建設課
9月 15日（木）	葛尾村地域振興課
9月 16日（金）	富田町仮設住宅 （郡山市富田町若宮前応急仮設住宅集会所）
9月 23日（金）	浪江町産業振興課

【問い合わせ先】相双農林事務所双葉農業普及所

☎ 0240-23-6474

FAX 0240-27-4747

川内普及所（川内村役場内）

☎/FAX 0240-38-3434

消防署からのお知らせ

住宅用火災警報器を半年に1回点検しましょう！

作動確認のしかた

正常なら以下のように鳴ります。

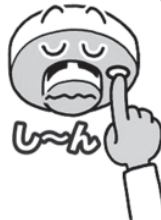


ピーピーピー
火事です ※

ピーピーピー
火事です ※



ボタンを押しても（ひもを引いても）作動しないときは、以下のことが考えられます。



▶電池は、きちんとセットされているかご確認ください。
▶それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」ですので、取扱説明書をご覧ください。
また、「電池切れ」や「機器本体の故障」の場合は、速やかに電池や機器本体の交換をお願いします。



9月9日は救急の日

あ、人が倒れている!!

1 安全の確認



2 肩をたたいて意識の確認



3 助けを呼ぶ

4 呼吸の確認

胸と腹部の動きを見て、呼吸の確認をします（10秒以内）
※わからない時は胸骨圧迫を開始



技術と意思があれば胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返す



6 AEDで電気ショック

体から離れてください

5 胸骨圧迫

胸が約6cm沈む程度の強さで、1分間に100回から120回のテンポで押します



救急隊に引き継ぐまで心肺蘇生を続けましょう

心肺蘇生法が5年ぶりに改訂されました。身近になったAEDや最新の心肺蘇生法を学んでみませんか。その他、応急手当の講習も消防署で随時行っていますので双葉消防本部、または近くの消防署へおたずね下さい。

火事と救急は
119番

< 消防署連絡先 >

- ・浪江消防署 ☎0240-34-7360
- ・富岡消防署 ☎0240-25-2119



～ ペットを飼っている方へのお知らせ ～

- ・犬も猫も大切な家族の一員です。愛情と責任を持って飼いましょう。
- ・不幸な子犬や子猫を増やさないために、不妊・去勢手術を受けさせましょう。
- ・猫の「室内飼い」をすすめています。交通事故や病気から守りましょう。
- ・飼い犬の登録と狂犬病予防注射を受けましょう。
- ・飼い犬の放し飼いをやめましょう。人に噛みついたり、交通事故に遭うかもしれません。
- ・きちんとしつけをしましょう。トラブルを防ぐだけでなく、災害時などに同行避難する場合にも重要です。
- ・保健福祉事務所では保護・収容された犬や猫を譲渡しています。責任を持って飼ってくださる方は、保健福祉事務所にご相談ください。



【問い合わせ先】 相双保健福祉事務所 衛生推進課 ☎0244-26-1351

教育総務課生涯学習係事業開催のお知らせ

9月 生活学級の日程

※婦人学級の予定は、同封のチラシでお知らせしています。

日	月	火	水	木	金	土
生活学級について 2回目は、集まった皆さんに震災で経験したお話をお聞きします。当日会場に直接お越しください。 3回目は文化財レスキューや震災資料保全に関わる施設の研修を予定しています。						
4	5	6 ◆いわき南生活学級 (いわき市) ②震災とふたば ふたば一く 10:00～	7	8	9 ◆いわき北生活学級 (いわき市) ②震災とふたば いわき市文化センター 10:00～	10 市町村対抗 軟式野球大会 開会式 あづま球場
11 市町村対抗 軟式野球大会 対 新地町戦 あづま球場 11:30～	12	13	14	15 ◆かぞ生活学級 (加須市) ②震災とふたば 交流広場 10:00～	16 ◆しらかわ生活学級(白河市) ②震災とふたば 郭内仮設 13:30～	17
18	19 敬老の日	20	21	22 秋分の日	23 ◆ふくしま生活学級(福島市) ②震災とふたば サンライフ福島 10:00～	24
25	26	27	28 ◆つくば生活学級(つくば市) ②震災とふたば つくば連絡所 10:00～	29	30	

第3回町民作品展覧会作品募集のお知らせ

町民作品展覧会は、町民の皆さんが日ごろ制作した作品を広く公開できる場所です。作品を出品してみませんか。

◇郡山会場

日 時：10月25日(火) 13:00～17:00
26日(水) 10:00～15:00
場 所：郡山市ビックアイ6階 展示室

【申し込み・作品提出】

期 間：10月17日(月)～21日(金)まで
場 所：双葉町 郡山支所

申込方法：申し込み用紙に記入のうえ上記申し込み場所へ提出。(郵送・FAX可)

申し込み用紙はいわき事務所教育総務課、各支所に準備しています。また、町ホームページよりダウンロードできます。

そ の 他：双葉町埼玉支所でも受け付けます。(受付期間：10月11日(火)～14日(金)まで)

※第29回双葉町
総合美術展
(双葉町芸術文化
団体連絡協議会主
催)と同日開催

◇いわき会場

日 時：10月29日(土) 9:30～16:30
30日(日) 9:30～15:30
場 所：いわき市立勿来体育館

【申し込み・作品提出】

期 間：10月24日(月)～27日(木)まで
場 所：いわき事務所 教育総務課

※第45回勿来
地区総合文化展
会場内の双葉町
スペースで開催



双葉の風だより

全国に避難されている皆さんから寄せられた
お便りの一部をご紹介します

夏本番

・ 久し振り 出会うカマキリ 散歩道
・ 木漏れ陽に 光るせせらぎ 河鹿鳴く
・ 古池に 一輪の蓮 葉にかくれ
・ 水枯れし 池に一本アヤメ花
・ 季節忘れず 凜として咲く
・ 亡き妻の 二十五年の節目年
・ 昔偲ばる 墓碑の九文字
・ 迎え火を 焚いて先祖の道標
・ 煙におせぶか 月はおぼろに

武内 恒雄（長塚二）

菖蒲

・ 一品は 庭の落煮し 雨の夕
・ 朝顔は 深き色抱く 蕾かな
・ 越し行きて 人なき庭に 百合開く
・ 野溪^{あやめ}の 群るるふるさと 想いおり
・ 華やかな 七夕飾り 笹は枯れ

井上 弘子（洪川）

五輪

・ リオ五輪 壮行会に 打つ太鼓
・ 震災五年 美しき青田は 何処^{いずこ}かな
・ 梅雨晴れや 闊歩の女性 見送りし

藤田 博司（下条）

湧水池

・ 合^ね飲の花 里への道も 通ひ慣れ
・ 野も山も 音一つなき 梅雨入る
・ 茄子の花 うつむきながら 穏やかに
・ 滴れる己が汗踏み女子^{おなご}舞ふ
・ こみあげる 砂美しく 泉湧く

関根 初巳（長塚二）

土用波

・ 故郷へは 帰れぬままに 夏に入る
・ すさまじく 磯に碎ける 土用波
・ ペランダに 植えた野菜の 梅雨に入る
・ 新居には 屋久杉仏壇 梅雨明ける
・ 夏燕 雛の轉り 賑やかに

半夏生・片陰

・ 長雨に 雷の響きか 半夏生
・ 一寸した 片陰浸る ひと休み

遠藤 シゲヨ（長塚二）

半夏生・片陰

・ 大雨の 遠くで続く 半夏生
・ 朝作り 片陰のなき 野ら仕事

柚原 秀康（前田）

人のうごき7月分

敬称略

お誕生おめでとうございます

氏名	生年月日	保護者	行政区
脇崎 ^{わきざき} 真音 ^{まのん}	7月12日	寿・真奈美	長塚二
佐藤 ^{さとう} 葵 ^{あおい}	7月17日	大地・直実	長塚一

お悔み申し上げます

氏名	年齢	死亡日	行政区
松浦さち子	86	7月7日	長塚一
永井 正彦	76	7月23日	長塚一

双葉町民の避難状況

（平成28年8月1日現在）

- ・ 福島県内に避難されている方 4,072人
- ・ 福島県外に避難されている方 2,892人

※平成23年3月11日時点の住民基本台帳人口から
死亡者を引き、出生者と転入者を加えた人口を示し
ています。

連絡のついた方で、了承の得られた方のみ出生、
死亡の方の名前を掲載しています。

なお、掲載を希望しない場合は秘書広報課までご
連絡ください。

秘書広報課 ☎ 0246-84-5202

双葉町を忘れない

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故により、私たち双葉町民はふるさと双葉町を離れ、今もお全国に分かれて避難生活を送っています。

先の見えない不安な生活の中で、町民の皆さんが毎日をどのような思いで過ごし、ふるさと双葉町への思いを抱き続けているのかを、皆さんの声をお聴きしながら「ふるさと絆通信」として連載していきます。

そして「ふるさと絆通信」を通して、皆さんの双葉町への思いと心の絆がより一層深まることを期待いたします。

記録として次の世代へ きずな ふるさと絆通信

第40号



「ふるさと絆通信」であなたの想いを伝えてみませんか。

ふるさと絆通信では、避難されている皆さんへ想いを伝えていただける方を募集しています。避難生活での活動や日々の生活の中で感じていること、ふるさと双葉町への想いをこのコーナーでお話ください。双葉町民の方ならどなたでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

—想いを伝える—

ふるさと絆通信は、株式会社鹿島印刷所（南相馬市）の記者が町民の皆さんの避難先を訪問し、インタビュー取材をさせていただいています。

掲載する文章は、インタビューの内容をもとに記者が作成しますので、インタビューをお受けいただいた方が文章を作成する手間はありません。

【問い合わせ先】 秘書広報課 ☎ 0246-84-5202



ずっと、ふるさと。双葉町。

かさはら えつお
笠原 悦夫 さん

(下条)



●避難先●
仙台市青葉区



原発事故という残念な結果

仕事をする以上は故郷のために何かできることをという気持ちで、東京電力(株)に入社し、54歳で早期退職するまで勤務してきました。事務系の仕事に携わる中、東電社員であると同時に住民の一人として、安全確保や地元との信頼関係の構築には、できる限りのことをしてきたと思っています。在職中、様々な社内研修に参加してきましたが、その中には、技術的な内容もありました。私は「事務系だから関係無い」ということではなく、職責を果たすためにも、理解を深めようと努力してきました。そのため、今回の原発事故は、住民の一人として故郷を失った悲しさだけでなく、原発に携わった者としても残念な気持ちでいっぱいです。

情報が無いことの恐ろしさ

大地震の後、大津波が来るかもしれない。多くの方がそう考えたと思います。しかし、私を含め、原発事故までは連想できなかったはず。

震災発生当日の夕方、第二原発の3キロ圏内に避難指示が出されたことを知ったとき、原発が大きな損傷を受けたかもしれないとは思いませんでしたが、冷却すらできない状態とは思わず、震災翌朝、自宅前の国道で防護服の着用した警察官の姿を見て、情報が無い中、ようやく「冷却機能喪失」を連想し事の重大さを

認識して町を離れました。震災当夜、自宅の庭に停めた車の中で一人で過ごし、自ら情報収集を怠ったことについて、今も悔やんでいます。

南相馬や新潟で避難生活を送る

川俣町に向かう道路が渋滞していたため相馬方面に向かい、南相馬市内の避難所に身を寄せましたが、同市も避難となり、バスで新潟県三条市に向かいました。平成23年6月まで同市で過ごしましたが、仙台市に住む兄の手配で同市内に移り、現在に至っています。

仙台で親類や知人が避難生活を送っていることは知っていました。一方、双葉町や私たちの生活再建に関する情報が無く困っていたため、避難者交流会等に参加し、双葉町民に出会い、情報交換をしたり、連絡を取り合ったりするようになりました。

避難者自治会への参加

仙台市とその周辺で避難生活を送る双葉町民が参加する自治会「双萩会」に発足から参加し、副会長を務めさせていただきました。生活に関する情報交換や交流会等を行いながら、故郷の復興や生活再建に向けた意見の取りまとめや要望活動を行っています。

この4月、総会で会長に選出されました。避難生活が長期に及ぶ中、一人でも多くの会員が生活再建を図れるよう、微力ながら活動していきたいと思っています。



かむら のりよし
加村 範良 さん
しげこ
茂子 さん
(三字)

ふるさと 絆通信 ●避難先●
福島県いわき市

看護師から「郵便屋」への転身

現在、男性看護師は多くの診療科に配置されるようになりましたが、私が看護師になった頃は、都市部でさえ男性看護師が少なく、「看護師＝女性」「看護婦さん」というのが一般的な時代でした。私は双葉厚生病院に勤務し、精神科病棟を担当していました。

震災の約4年前、看護師として長年勤務した病院を退職しましたが、歳を重ねても元気なうちは働いていたいと思っていました。これまで看護師として屋内での勤務が長かったこともあり、外に出る機会が多い仕事として目にとまったのが郵便配達員でした。全くの畑違いに驚かれることもありましたが、私にとつては、人生の節目で心機一転という具合です。

輸送車の「遅れ」が命拾いに

震災当日、いつものように朝から浪江郵便局で勤務にあたっていました。その日、郡山市にある地域区分局からの輸送車の到着が遅れたため、いつもより遅い時間に請戸方面の集配に向かい、双葉警察署浪江分庁舎付近を走行中に地震に遭いました。もし、予定通りの時間に出発していれば、津波に襲われていたかもしれません。

郵便をはじめとする輸送業務では「配送の遅れ」は避けるべきことですが、この時ばかりは、それが命拾いに繋がりました。

家族一緒にの生活に戻るために

被災翌朝、田村市都路町にある妻の実家から、「(実家が)面している国道288号線で西に向かう車が渋滞しているのは避難ではないか」と電話があり、家族で実家に向かいましたが、その夜には都路も避難になりました。

それ以降、一家は県内外で離合集散を繰り返しましたが、故郷に似た環境で家族一緒に生活したいと考え、いわき市内に家を建てました。特に、高齢の両親にとつて、狭いアパートや都会での暮らしは負担に感じるようでした。双葉で暮らすことに勝るものはありませんが、これで少しは落ち着いた日々を送ることができるのかと思います。

ヒマダレ解消と近所づきあい

長年、夫婦とも看護師(震災時、妻は石田医院に勤務)として働いてきたためか、避難により何もできない時間が続くことが一番のダメージを感じています。そのため、いわき市での生活を始めてからは、畑を借り、夫婦で野菜作りをするなど、なるべく動くための機会をつくるようにしています。

また、こちらでの生活を続ける上で、この地域に馴染むことも大切だと思っっているため隣組にも入りました。そして、今年度は、お世話になっている地域への恩返しの意味も込め、隣組長をさせていただいています。

すがもと しょうじ
菅本 章二 さん

(浜野)



●避難先●
埼玉県加須市



地震で自宅は倒壊し兄が負傷

大地震が発生したとき、私と兄は自宅の中に、母は外で農作業をしていました。激しい揺れで屋根瓦が落ちるなどしたため、なかなか外に出られませんでした。揺れの弱まるタイミングを見計らって脱出しました。地震で自宅は大きく損壊し、建物の半分が潰れてしまいました。

大きな揺れが収まり、外にいた母の無事を確認することはできましたが、兄の姿がありません。余震が続く中、建物に入ることはできず、しばらくぼう然としていたところ、がれきの中から兄が這い出てきました。意識ははっきりしており、とりあえず助かったと思い安心しましたが、ケガを負っていたため、救助に来た方によって病院に搬送されました。

大津波で「九死に一生」を得たが

兄を見届け、私は母とともに応急的な片付けを始めました。津波警報が出されていることは分かっていたましたが、建物の高さを超えるようなことになるとは思っていませんでした。

しばらくして、地震とは違う響きを感じた直後、塀を水が乗り越えてきました。「これが津波か」と思い、とつさに母のもとに走り、手を取って逃げようとしたのですが、津波の第二波が襲来したとき、母の姿は見えなくなり、私の意識も遠のいていきました。

気が付いた時には暗闇の中でした。がれ

きに挟まれ動けず、自らの生死すら分らない状態でしたが、「誰かいなか」という声が聞こえたため、必死に自分の存在を知らせたところから再び意識が途絶えました。

さいたまで兄と再会したが

搬送された双葉厚生病院で意識を取り戻しましたが、自立歩行可能な状態ではなく、町外避難では、入院患者とともに各地を移動し、川俣町を経てさいたまスーパースターアリーナに向かった後、さいたま市民医療センターに入院しました。そこで、ようやく兄と再会できましたが母の姿はありませんでした。

退院後、旧騎西高校を経て、加須市内の借り上げアパートで生活し今日に至っていますが、母の手がかりがないまま5年半を迎えました。

自宅は津波で流され、南相馬市にある親しい親戚宅も同様に津波で被災したため、福島県内に戻る意味はあまり感じられません。一時帰宅には参加していますが、当家にとって唯一残された墓をお参りするぐらいです。

町民同士離れていても

震災前のように、町で顔を合わせることはできなくなりましたが、加須でのイベント等の様子をタブレット端末を通して、掲示板に投稿しています。その画像を見た方から「元気がだったの?」との反応をいただくと、離れていても故郷の絆は続いていると感じられます。



両親とともに（左：父、中央：母）

くわばら たつじ
桑原 達治 さん

（下条）



●避難先●

島根県松江市

「当たり前のことを失う」こと

幼い頃、父の転勤で双葉町に移り住み、大学進学のため町を離れた時期もありましたが、卒業と同時に戻り町職員になりました。若い頃から運動が得意で、体力にも自信があり、ふくしま駅伝には、事務局兼選手として出場するなどしていました。

役場に勤務して約20年、年齢は40歳前半、公私ともに一番忙しく動ける時期を迎えていた平成19年10月、突然の病魔に襲われました。病名は脳内出血。発症直後、南相馬市内の病院で手術を受け、一命を取り留めることはできましたが、左半身に麻痺の後遺症が残ってしまいました。

働き盛りの最中、動きたいという意思があっても動けないという現実、大きなショックを受けると同時に、健康はあっても当たり前と思っていたことが、突然失われてしまったことを受け入れるのは、簡単ではありませんでした。

故郷で社会復帰を目指していたが

退院後、自宅療養しながらリハビリを続ける日々を送っていました。自宅は役場の近くにあつたため、歩行訓練で外を歩いているとき、役場庁舎や職員たちの働く姿を見て、一日も早く職場に戻り、社会復帰を果たしたいと思っていました。

震災当時、歩行訓練から自宅に戻り、玄関

を入ろうとしていたとき、大地震に襲われました。杖を使えば歩けるようにまで回復していたとはいえ、足元から蹴り飛ばされるような揺れに立っていることはできませんでした。

被災翌朝、川俣町の避難所に向かいましたが、体の状態がついていかず、弟の友人の助けを借りて千葉県内の親戚宅に向かい、その後、加須市の避難所を経て、島根県松江市に向かいました。

社会復帰と生活再建を同時に目指すこと

父は島根県津和野町、母は松江市の出身です。そのため、両親にとっては「故郷へのUターン」ですが、人生の大半を双葉で過ごしてきたため、こちらに親類縁者はいても、実質的な故郷は「双葉町」です。

避難後、地域の皆さんから助けを借りながら生活が続けていますが、私の場合は、避難前から継続している「社会復帰」と、こちらでの「生活再建」を同時に行わなければならない現実に向まっています。

平成24年、福島県内への帰還の目的が立たないため、町職員を辞め、松江市内にあるNPO法人「プロジェクトゆうあい」で働き始め、古本販売業務に携わっています。

震災復興は、故郷での生活を取り戻すこととは思いますが、長期的に帰還が叶わぬ中、こちらでの生活再建が、当面、私たち一家にとつての「復興」なのかもしれません。

ひろはた やすゆき
廣畑 康行 さん

(下長塚)



●避難先●
福島県いわき市



おれの人生ここで終わるのか…

「活魚の水槽が波立って水があふれている」仕事のため、大熊町内の国道6号線を走行中、2台前を走っていたトラックの様子を見て地震に気付きました。富岡町に向かうはずでしたが、双葉町方面に引き返したところ、警察によって請戸方向に誘導されました。

請戸地区に入り、双葉に戻ろうとしていたところ、誘導したのは別の警察官が「津波が来る、逃げろ」と叫んだため、慌てて西の方向に車を走らせました。建物が破壊されていく様子を見ながら津波に追いかけられました。何とか無事に逃げ切れましたが、その道中、人生の終わりを覚悟しました。

明日からは仕事が忙しくなると思った

私は父とともに電話工事業（広畑通信）を営んでいました。主な仕事の内容は、電話柱から建物内までの工事で、電話線を引くことから電話やインターネット機器を設置することです。

被災当日、町内ほとんどの地域で停電していました。幸い、私の自宅は電気が通っており、テレビを見ることができました。また、国道6号線に面しており、震災に関する情報を得るためテレビを見せてほしいと立ち寄る人もいました。テレビでは激甚な被害を伝えており、その様子に、明日以降、復旧作業で仕事が忙しくなると思いました。

震災翌朝は普通に朝食を

停電せず煮炊きができたため、震災翌朝は、いつも通りに、家族で朝食を囲んでいました。すでにその頃、ほとんどの町民が町外避難を始めていたようですが、防災無線が聞こえなかったため分からず、午前10時過ぎ、テレビで避難指示を知り、家族と親戚で車2台に分乗し家を出ました。その時、偶然、自宅前を通りかかった富岡町在住の仕事仲間の高橋さんとともに南相馬市に向かいましたが、途中で父らとはぐれ、私は同乗していた母や兄、高橋さんと共に、県内外を転々とし、平成23年4月上旬、仕事の再開に伴い、私と高橋さんはいわき市に向かいました。

ライフラインの担い手としての自負

いわき市に来てしばらくの間、復旧作業のため寝る間を惜しむ状態が続きました。携帯電話が増えたとはいえ、高齢者を中心に固定電話は手放せない存在です。電話がなければ何かあっても、警察や消防への通報もできません。電話は、電気・ガス・水道に並ぶライフラインです。仕事を終え、電話が通じたお客様の喜ぶ顔を見る度に、報われるような気持ちになります。

震災を機に父が仕事を引退しました。現在、一人で仕事をしています。ライフラインの担い手の一人として、その自負を持ち続け、日々の仕事にあたっていきたいと思っています。

ぼくの夢・わたしの夢



会津若松市立一箕小学校6年 ^{あまの}天野 ^{はづき}葉月さん（山田）

私の将来の夢は、歯医者になることです。理由は2つあります。1つ目は、今通院している歯科の先生たちがとても優しくて憧れを持ったこと、2つ目は、看護師をしている両親のように誰かの役に立つ仕事がしたいと思ったことです。

前に虫歯の治療をした時、とても痛くてもう歯医者へ行きたくないと思いました。今は、矯正のために治療へ行かなくてははいけません。でも、先生に診てもらうことで、口の中がスッキリしてとても気持ちが良く、素敵な1日を過ごすことができます。歯が健康だと体も健康になれると思います。

痛くない治療を目指して、優しい歯医者になれるよう夢に向かって頑張りたいです。

しのぎやすい日が多くなり、暑かった夏から秋へとバトンタッチされていくのが身体で感じられます。
今月の表紙は、相馬野馬追で雲雀ヶ原祭場地へ堂々出陣した勘定奉行の谷津田光治さんです。震災後の厳しい状況の中でも伝統を絶やすことなく歴史を守り続けてきた姿に、威厳を感じました。
8月に行われたリオデジャネイロオリンピックに出場した渡邊一成選手の応援イベントをいわき事務所で行い、スクリーンの前で町民の皆さまと声援を送りました。予選敗退という残念な結果となりましたが、渡邊選手の大会へ臨む姿や自分の町に世界で戦う選手がいるという素晴らしいことに、元氣と希望を与えてもらいました。
夏の疲れが出てくる時期です。体調を崩さないよう、お身体に気を付けてお過ごしください。

編集後記



集まれ！ふたばっ子に参加していた高橋七海さん（長塚二）、清水葵衣さん・美羽さん（長塚二）の笑顔です。

連絡先

○いわき事務所 〒974-8212 福島県いわき市東田町二丁目19-4
☎ 0246-84-5200 FAX 0246-84-5212、0246-84-5213
✉ futaba@town.futaba.fukushima.jp

○郡山支所 〒963-8024
福島県郡山市朝日一丁目20番2号
☎ 024-973-8090
FAX 024-933-5120
✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp

○埼玉支所 〒347-0105
埼玉県加須市騎西36番地1 加須市騎西総合支所1階
☎ 0480-53-7780
FAX 0480-53-7266
✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp

○双葉町公式ホームページ <http://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/>
携帯サイト <http://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/m/>

○双葉町公式ブログ「ブログ ふたばのわ」
<http://futabanowa.wordpress.com/>

